

物語読解時の内声化の具象性と没入の関連

○遠藤直・有馬多久充・梁葉飛・森田愛子
(広島大学大学院人間社会科学研究科)

内声化とは、頭の中で文章を音読する活動であり、それが生起する程度には個人差がある (Vilhauer, 2017)。登場人物に合わせた異なる声で再生されうることや、内声化の鮮明さに個人差があることも報告されている (Alderson-Day, 2017)。本研究では、物語読解中の内声化の生起頻度および内声化時の声の使い分けや鮮明性 (本研究では具象性と呼ぶ) の個人差に着目し、物語の読み方との関連を検討する。特に本研究では、物語への没入特性との関連に着目した。没入とは、読者が物語を読む行為とその内容に集中し物語世界に入り込む体験である (小山内・楠見, 2013)。より頻繁に、より具象的な内声化を行う読み手は、より詳細な物語世界をイメージし、没入しやすいと予測される。

方法

参加者 調査会社に登録している成人 499 名 (平均年齢 43.0 歳, $SD = 10.5$) が調査に参加した。

調査内容 (1) 物語読解中の内声化調査, (2) 没入特性調査の 2 つで構成されていた。(1) 内声化調査では、普段、小説などの物語のセリフ文を黙読する時のことを想起してもらい、(a) 内声化の生起頻度, (b) 内声化の具象性を回答してもらった。(a) 生起頻度については、Table 1 の 5 つの選択肢から選択してもらった。(b) 具象性については、Table 2 の 6 種類の内声化時の声質で再生される頻度を、「よくあるー全くない」までの 4 段階でそれぞれ回答を求めた。(2) 没入特性調査では、日本語版文学反応質問紙 (小山内・岡田, 2011) のうち、「物語世界への没入 (9 項目)」と「読書への没頭 (7 項目)」の 2 つの下位尺度について、「そう思うーそう思わない」の 5 件法で回答を求めた。

手続き 調査はオンライン上で行われた。参加者は、調査会社を経由して調査の URL を受け取り、それに回答した。所要時間は約 5 分であった。

結果と考察

没入特性調査の得点について探索的因子分析を行い、共通性の低かった 1 項目、先行研究と異なる因子に分類され、かつ 2 因子に比較的高く寄与した 1 項目を除いて以下の分析を行った。

Table 1 の生起頻度 5 タイプを要因とし、没入特

性の 2 つの下位尺度を従属変数とした 1 要因分散分析の結果、物語世界への没入得点について、内声化を「全くしない」「ほとんどしない」タイプの得点は「すべてする」「ほとんどする」「ときどきする」タイプより有意に低かった。読書への没頭得点について、主効果は有意であったが、多重比較の結果、タイプ間に有意差は見られなかった。

内声化時の声の具象性 (6 種類) のうち、参加者が最も頻繁に用いると回答したものを、参加者の内声化の具象性タイプとした (Table 2)。6 タイプの具象性を要因とし、上と同様に 1 要因分散分析を行った。物語世界への没入得点は、「複数・特定」「複数・違い明確」タイプが「1 種類」の 3 タイプより有意に高かった。読書への没頭得点は、「複数・特定」「複数・違い明確」タイプが「1 種類・自分」タイプより有意に高かった。

なお、人数の少なかったタイプを他タイプと統合した場合にも、分析結果は同一であった。

この結果は、より頻繁に、より具象的な内声化を行う読み手の方が没入しやすいという予測と一致した。内声化時の声質が、より登場人物に即しており明確である場合に没入特性得点が高く、特にその違いが「物語世界への没入」において顕著であるという興味深い結果が得られた。

Table 1
内声化の生起頻度タイプごとの没入特性調査得点

| 内声化の 生起頻度 | タイプ の人数 | 物語世界への没入 | | 読書への没頭 | |
|--------------|------------|-------------|-----------|-------------|-----------|
| | | <i>M</i> | <i>SD</i> | <i>M</i> | <i>SD</i> |
| すべてする | 89 | 3.02 | 0.88 | 3.11 | 0.77 |
| ほとんどする | 213 | 3.16 | 0.74 | 3.14 | 0.79 |
| ときどきする | 154 | 2.97 | 0.66 | 3.04 | 0.74 |
| ほとんどしない | 32 | 2.12 | 0.58 | 2.83 | 1.03 |
| 全くしない | 11 | 2.21 | 0.71 | 2.51 | 0.78 |

Table 2
内声化の具象性タイプごとの没入特性調査得点

| 具象性 タイプ | タイプ の人数 | 物語世界への没入 | | 読書への没頭 | |
|------------|------------|-------------|-----------|-------------|-----------|
| | | <i>M</i> | <i>SD</i> | <i>M</i> | <i>SD</i> |
| 複数・特定 | 215 | 3.17 | 0.71 | 3.11 | 0.73 |
| 複数・違い明確 | 133 | 3.08 | 0.72 | 3.19 | 0.70 |
| 複数・違い不明確 | 62 | 2.70 | 0.84 | 3.01 | 0.91 |
| 1種類・自分 | 63 | 2.64 | 0.83 | 2.76 | 0.92 |
| 1種類・明確な声 | 4 | 2.83 | 0.86 | 2.90 | 0.38 |
| 1種類・不明確な声 | 21 | 2.42 | 0.71 | 3.01 | 1.01 |